

委員長 あいさつ

総務・広報委員会

「1年を振り返って」

1年前、代表幹事の江川さんより「総務・広報委員長をやってくれないか?」「なに!私が…とんでもない、総務のこと何も知らないし、まして委員長なんて無理、無理ですよ」

「とにかく委員長を受けてくれ…」と言われ「江川丸」の一員となりました。

4月幹事会が終わって「於東さん、幹事会の議事録は?」「あれ、私が書くの?」「総務・広報委員長の仕事よ」副委員長より「このメモでも参考になればまとめてください」「ありがとう、何も知らないもので今度からは私が…」始めから失敗ばかりで、事務局の苅田さん、副委員長の柴田さんをはじめ委員会の皆様に助けられるばかりでした。何も知らない私でしたが皆様の協力で、やっと1年が終わろうとしています。総務・広報委員長として十分な仕事ができませんでした。と思いますが、時は流れ進んでいます…。

ご協力ありがとうございました。

総務・広報委員長 於東利夫

事業委員会

「～一陣の爽やかな風～」

OKCメイン事業である「ワンデーエクササイズ」、「学校との懇談会」の担当である事業委員会を、この一年間担当し、学校関係や他団体の方々、並びに本委員会の委員の皆様のご協力により、この事業を遂行する事ができました。

事業委員会に携わる前は、OKCのメンバーでありながら傍観者であった事を痛感致しました。そして委員長として一年間、関係者との打ち合わせ、調整、手配、資料作成にと東奔西走もありましたが、多くの事を学ばせて頂けたと思っています。

また学生さん達と接する機会を持つことにより、建築に取り組む姿勢や考え方、又、若い感性に触れ、自分を見つめ直すことが出来て非常に良かったと感じています。

一陣の爽やかな風を起こせたかどうかはよく分かりませんが、少なくとも私自身の中では、木漏れ日の木々の中を流れる爽やかな風を感じることができました。

委員会並びに関係者の皆様に厚くお礼を申し上げます。

事業委員長 藤澤 道太

「大変お世話になりました。」

若輩な私が、何とかこの一年を乗り越える事が出来たのも皆様の御協力の賜物です。

また、いろいろな面でも勉強をさせて頂き、有難うございました。しかしながら、「退会防止」「PR活動」「例会行事の盛り上がり」など、多くの課題を残したと思います。また、次年度は「20周年」の記念の年です。

今後とも、今年以上に御協力の程、宜しくお願いします。

賛助会 幹事長 上村 嘉孝

親睦委員会

「今年一年感謝の連続でした!」

例年通りの納涼例会、忘年例会の企画・運営と特別事業への協力という役割を頂きましたが、入会1年目の私にとって右も左もわからない状態で、やれるのかな…とと思っていましたが、前委員長の於東さんの助言と日本ルーフの藤原さんをはじめとする賛助会の皆様方のご協力、また江川代表幹事の暖かい見守りによって、無事1年が過ごせたことにお礼と感謝を申し上げます。また例年通りではありませんでしたが、納涼例会は花火大会をはずして「岡山ケントス」で98名の参加をいただいて、和気あいあいと進み中、田原市議の華麗なダンスが披露され、ステップの指導をうけながら参加者が生バンドにあわせて踊りだす頃には、会場も熱気ムンムンとなり、若かりし頃のダンスパーティを、ふと思い出した一時でもありました。忘年例会は開業間もない全日空ホテルで建物の匂と内容、量とも充分満足のいく食事を味わいながら、委員会対抗ゲームのビンゴやジェスチャー、一人勝ちゲームのジャンケンゲームなどで、たのしい時を過ごすなか、正会員・賛助会員相互の親交を深められたのではないのでしょうか。特別事業への協力については、「文化探訪」というテーマにそった韓国への旅行でしたが、何の協力もせず参加するだけで、ただただ食事、観光とも大変満足出来る、清くたのしい時をすごさせていただき、江川代表幹事と河先生ののご尽力に感謝いたします。本当に有り難うございました。最後になりましたが事務局の苅田さんのきめ細かなサポートに感謝、感謝…。

親睦委員長 菅野 憲

テーマ・交流委員会

「お名残惜しいのですが…最敬礼です!」

何事も付け焼刃な私は、6月例会前に原子力発電を一夜漬けし、10月例会直前には慌てて石谷家の歴史を調べ、2月例会に備えて遺伝子を勉強するという泥縄ではありましたが、珍しくアカデミックな一年を送ることができました。委員会のメンバーが頼もしい面々だったお陰で、4月の総会後の二次会で一年の企画がほとんど完了していたという稀有な委員会でした。一年間、いい加減で頼りない私を支えて下さった委員の皆様、OKCの皆様、ありがとうございました。

テーマ・交流委員長 和田 洋子

忘年例会

●親睦委員長／菅野 憲

忘年例会の会場確保にあたり、江川代表幹事の活動テーマである「文化探訪」に少しでも沿った場所で…と岡山駅西口地域整備の一角をなす、オープン間もない＜今が旬＞の全日空ホテルということになり、予約で一杯という状況のなか、11月30日の予約を取り付け、限られた予算の中で、食事の量と質を確定した後、消費税やコンパニオン費用も含めてしまうハナレワザを成し遂げた、日本ルーフの藤原氏に、まずは乾杯!

さて、例会は肅々と15分ほどで終わり、早々に懇親会へと移りました。森本先生の乾杯の音頭を皮切りに、喉の渇きを癒しながら食事が始まり、彼方此方から和やかな談笑が聞こえ、和らいだ雰囲気は漂っていましたが、各委員会対抗のゲームが始まるや、会場は一変して騒がしくなり、ビール飲み大会、ジェスチャーゲーム、ビンゴゲームと続くなか会場はムンムンとした熱気に包まれ、本年度最後のイベントに参加者全員が楽しめたように感じました。上村幹事長の閉会の辞をもって、それぞれ二次会へとくだし、更に楽しい一時を過ごされたことでしょう…

今年もたのしい忘年例会を期待しております。

最後になりましたが、賛助会の皆様、役員、委員の方々の多大なご尽力に感謝いたします。



2月例会

●テーマ・交流副委員長／山田 暁



平成18年2月21日多くの会員の参加のもと、OKC2月例会が開催されました。江川代表幹事のもとでの最後の例会です。いつもの会場である「えきまえミヨシノ」にて工藤季之(就実大学薬学部生物薬学科助手・理学博士)先生を講師にお迎えをし「分子生物学で見たからだと健康」をテーマに講演をしていたいただきました。演題から想像できるように我々の体を構成しているミクロの世界を覗き見て、分子的なレベルからみた病気の成り立ちなどをわかりやすく説明をしてもらいました。

「細胞ってなに?…ミトコンドリアミステリー…サイキンが体の中にいる…遺伝子って何?…DNAから染色体…セントラルドグマ…ゲドムって何?…」どこかで聞いたような言葉がポンポン先生の口から出てきました。日ごろ「まちづくり・いえづくり」に浸った生活をしている私にとってチョット違った世界を感じることが出来たひと時でした。人間の未来は明るい、生命の長さも何年まで伸びるのかと想像を巡らせました。

最後に先生の言葉をふたつ「設計図(遺伝子情報)がおかしいとおかしい物ができる。設計図(遺伝子情報)が正しくてもおかしい物ができる事がある」「正しい知識を身に付け自分の体や健康を管理しましょう」

皆様、ご参加ありがとうございました。